



移住×美濃焼

陶磁器産業の
担い手と兼業の可能性

平成31年度移住促進団体活動推進事業
陶磁器産業の担い手確保に向けた基礎調査事業報告

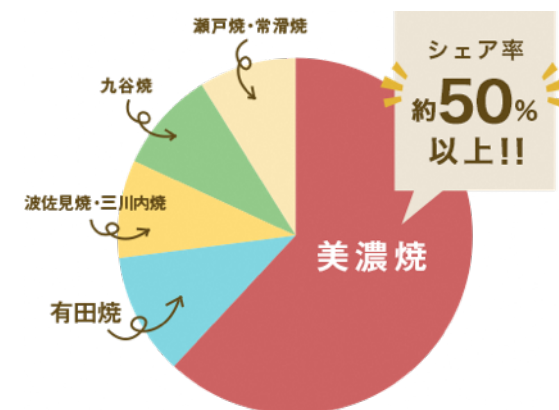
令和2年1月
一般社団法人サステナ

課題

岐阜県の重要な地場産業のひとつ

美濃焼は **複雑な分業体制** で成り立っており

どこにどのような人を呼び込むことが効果的なのか不明



※経済産業省「平成25年工業統計表」参照

グラフ出所：美濃焼くるくるホームページ

<https://www.minoyaki-kurukuru.com/fururu/sanchi/>

目的

1. 分業体制の実態把握
2. 今後継承が必要な工程と、ローモデルのあぶり出し



次年度から具体的取り組み実施を前提に

兼業や移住等による事業継承・技術継承の可能性を分析

手法

1. 事業者ヒアリング 10名

産業全体で約800社が存在すると言われており全ての把握は困難

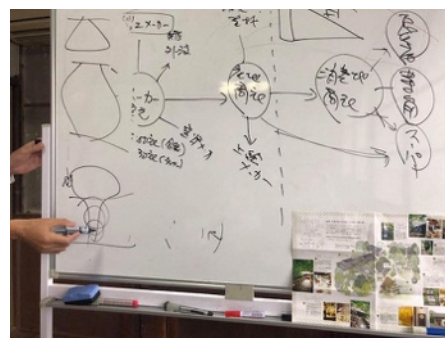
本事業：主に瑞浪市の事業者を対象

(原料商社／製土メーカー／絵付け業社／製造メーカー／研究員 等)

2. 実践者ヒアリング 3名

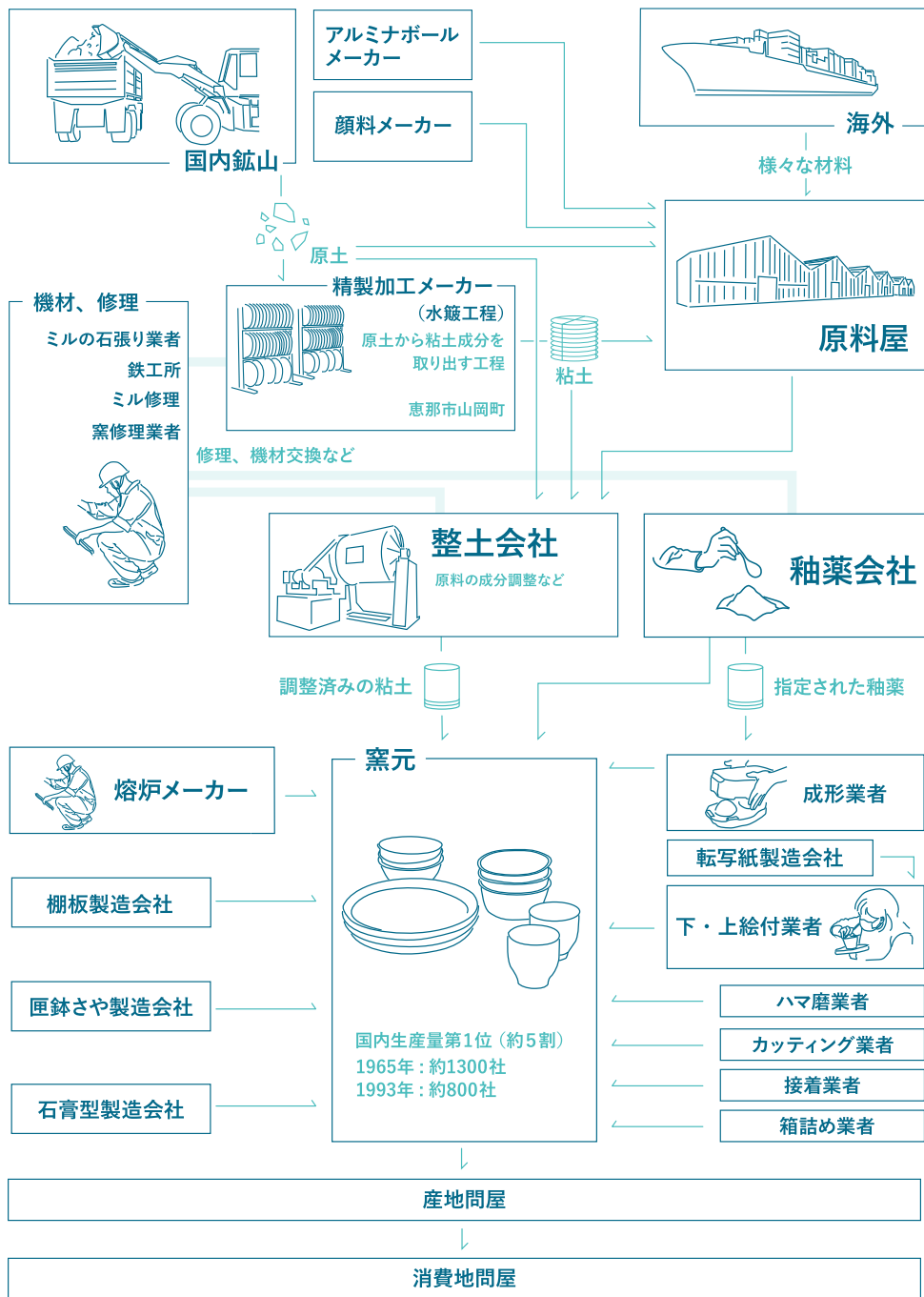
主なヒアリング内容

- ・ 工程における自社の役割
- ・ 同業者数や年代
- ・ 最も技術継承の危機にある工程
- ・ ピーク時と現在の事業者数の比較
- ・ 自社工程から見た際の最重要工程
- ・ 今後の産業の課題や展望 等



次に話を聞くべきキーマンをその場で紹介いただく

美濃焼の分業体制



■M&Aによる事業承継

■内製化による維持

昭和の分業実態と比較すると、大きく形態は変化していないものの、全体の需要が減少する中で、衰退、代替、統廃合が生じている

<問題点>

技術者、職人が引退



現役が対応可能な

範囲の技術で製品をつくる

- 担い手となる若手をフルタイムで雇用する経営体力の問題
- 仕事量が不安定。技術取得機会の減少



「兼業」 を前提にした継承

複業スタイル

牧野真由子 (まきのまゆこ)

作家活動 × 絵付け職人

岐阜県瑞浪市出身
35歳



最初は「絵付けが楽しい」という気持ちで飛び込んだ美濃焼業界。働くにつれ、高齢化が進みあらゆることの技術継承がされていないことに危機感を感じ、現在は作家活動と並行して、絵付け職人としても仕事をしています。もちろん、作家として自分の作品を多くの人に見てもらいたい。でも、日本一の陶磁器産地に絵付け職人がいなくなってしまうのでは？ 2つの思いが原動力となって、現在の働き方を選んでいきます。

1週間

月 火 水 木 金 土 日

日中 おおよそ 8:30~17:00

週3：絵付け職人
週2：粘土会社

合計
月収約 13万

イベント出店
展示会参加

夜 イベント前：作品づくり
空き時間：タイル製造手伝い

現在までの経緯

23才

絵付け体験に参加
(多治見市陶磁器意匠研究所)

絵付けたのしい!
地場産業、おもしろい!

窯元に就職
同時期に作家活動もスタート

絵付け師募集
未経験歓迎チラシを
偶然みる

27才

多治見工業高校専攻科に入学
陶芸を学び直す

陶芸家の元で
作陶・絵付けのアルバイト

33才

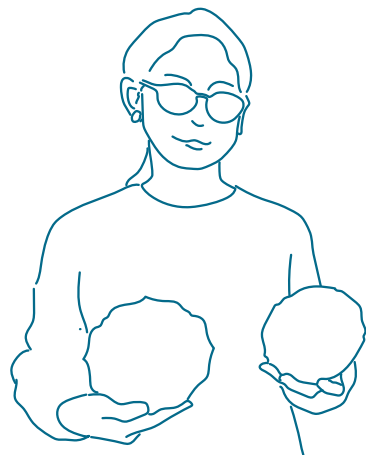
現在の複業スタイルに

移住

天野里栄（あまのりえ）

プロダクトデザイナー

山形県鶴岡市出身
35歳 4人家族(子ども2人)



大学在学中、陶器メーカーの展示会に訪れ、「商品」にゾクゾクしました。それまでは「陶芸=作家活動」と思っていました。「わたしが作りたいのは商品だ!」という強い気持ちで、産地として一番元気だと感じた美濃へ移住しました。美濃の製品は大量に作れることが強み。大量生産ができることで、より多くのお客様に喜んでもらえることが良さだと思っています。

現在までの経緯

22才

東北芸術工科大学美術科
工芸コース陶芸専攻卒業

「商品」作りしたい

岐阜県へ

23才

多治見市陶磁器意匠研究所
デザインコース商業製品デザインを学ぶ

25才

美濃焼の食器メーカーに就職

地域内の若手のみで解決することを念頭においている。

岐阜県に移住者が増えていること、施策が実施されていることに対する認識も薄い。

1. 受け入れ企業側の変化を醸成することも一つの施策として重要

対象企業に対する情報提供、対象企業が受け入れを促進するためのガイドライン作成やセミナーなどの実施

2. 兼業職人としてのライフスタイルを確立する支援

事例が少ないため、小さくモデルづくりをしていくことが重要

3. 適切な場所への情報発信

焼き物好きで移住した20～40代女子：

多治見市陶磁器意匠研究所、多治見工業高等学校専攻科（陶磁科学芸術科）、瀬戸窯業高等学校専攻科（セラミック陶芸コース、デザインコース）、全国の芸術大学の作陶やデザインコースなどを経て移住や就業している。

ロールモデルの働き方、生き方、岐阜県での移住促進に関する情報発信・提供、体験機会を増やす